



神和住城



珠洲道路沿いの案内板。後方の丘陵が神和住城跡

所在地：石川県鳳珠郡能登町神和住
立地：丘陵頂部、標高181m
城主：不明
時期：戦国
見学時間（参考）：40分～1時間30分

神和住集落の北側後背の天高山（てんこやま）に占地し、尾根伝いに遺構が残る。真宗大谷派真念寺の西の尾根先端部「ゴボジ（御坊地）」と称する場所に遺構が集中し、その北の尾根頂部付近の平坦地は「ヤシキアト（屋敷跡）」という通称名が残る。北方の独立丘陵や滝ヶ原と称する場所に砦（物見台）跡が残る。



登城口

火之宮神社前を西に進む

能登名跡誌に「神和住村近し。城跡あり。」と城跡が存在する伝承はあるが城主は伝えられていない。当地を含む柳田地域では長く名（みょう）体制が続いていたことから、各地に名主を伝える字地が残されている。永禄2年（1559）山本太郎右衛門が真念寺を小間生（おもう）から神和住に招聘し創建したと伝えていることから、地元では山本氏が名主であり神和住城の旗頭であったと推定している。山本氏は江戸期に上町野組十村組頭肝煎（のちの十村役）を勤めている。



主曲輪（物見台）



坂虎口（大手口）

火之宮神社側から大きく開いた谷部の小径を辿り、堀切底を利用した坂虎口を登る道筋が大手と考えられている。城内には多くの案内標柱が建てられ、現在城跡として紹介され町指定史跡にもなっているが、尾根続きの防御力が脆弱であり山内寺院跡とする見方もある。



土塁に囲まれた屋敷跡



宮屋敷跡



土橋と豎堀

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>